

2023年4月1日

高松出入国在留管理局審査部門 御中

フューチャーデザイン日本語学校

設置代表者 竹原 敬二

校長 藤川 千恵子

日本語教育機関の告示基準四十五号に基づいて、自己点検（学校評価）を報告いたします。

◎期間：2022年4月1日から2023年3月31日

◎評価基準

- 5：達成している 4：ほぼ達成している（改善の余地あり） 3：どちらともいえない
2：改善を検討・努力 1：改善が必要

◎各観点別の評価規準

(1)教育の理念・目標

ア	教育理念・目標は適切か	⑤・4・3・2・1
イ	理念・教育目標に合致したコースやカリキュラム設定をしているか	5・④・3・2・1
ウ	教育理念・目的が教職員間で共有され、改善に向け定期的に意見交換ができていますか	5・④・3・2・1
エ	教育理念・目的が生徒・保護者に共有されているか	5・④・3・2・1
オ	PDCAを行い、必要に応じて改善を加えているか	5・④・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 学生個々のレベルに合わせてクラス編成し、目標を明確に共有し、都度課題を共有して改善している。		

(2)学校運営

ア	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営がなされているか	⑤・4・3・2・1
イ	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能しているか	5・④・3・2・1
エ	教育目標達成に必要な講師の知識、能力及び資質が生徒、保護者に明示されているか	⑤・4・3・2・1
オ	喫緊の課題対応と中長期の課題に向けた運営がなされているか	5・④・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 卒業生の就職助言等の喫緊の課題には対応できたが、日本語力の向上については特別補		

習の内容等さらにブラッシュアップする必要がある。

(3)教育活動

ア	カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか。また、学生の能力に応じた授業・指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生の理解度を把握し、個に応じた指導を行っているか	5・④・3・2・1
ウ	学生の日本語資格取得（EJU、JLPT等）のための受験支援を行い、レベルにあった資格試験の受験を促しているか	⑤・4・3・2・1
エ	大学・大学院及び専門学校に進学先情報また就職先情報を積極的に収集し、学生の進路相談を十分に行い、適切な進路先が決定できるように支援しているか	5・④・3・2・1
オ	文化理解や、地域との共生のための活動は適切か	5・④・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 大学進学のための進路相談については計画性をもって取り組んでいきたい。		

(4)学修成果

・評価規準

ア	授業の進度は適切か？説明はわかりやすいか？	5・④・3・2・1
イ	目標が適切・明確で、計画的に行われているか？	5・④・3・2・1
ウ	動機づけのための授業方法に工夫はみられるか？	5・④・3・2・1
エ	定期テストの実施など、知識の定着が計画的か？	⑤・4・3・2・1
オ	質問への対応等、個に応じた指導をしているか？	⑤・4・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 授業方法の工夫とオリジナリティの確立に全力を挙げて取り組んでいく。		

(5)生徒支援

ア	学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか	5・④・3・2・1
イ	学生の在籍管理は十分機能しているか	⑤・4・3・2・1
ウ	健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
エ	保護者と必要な情報共有ができているか	5・④・3・2・1
オ	防災や緊急時の危機管理における体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
カ	（評価時ごとに設定）	5・4・3・2・1
（自由記述欄）評価者が自由に記述 生徒支援体制は構築できているが、保護者との連携強化を図っていきたい。		

(6)教育環境

ア	教育機関は教育施設として、適切な環境にあるか	⑤・4・3・2・1
イ	各教室は、生徒数に応じた環境で、授業に集中できるか	⑤・4・3・2・1
ウ	教育内容及び受講生数に応じた図書やメディアが整備され、	⑤・4・3・2・1

	常時利用可能であるか	
エ	視聴覚教材や IT を利用した授業, またオンライン授業が可能な設備や教育用機器等が整備されているか	⑤・4・3・2・1
オ	個別指導や相談に応じたスペースが確保されているか	⑤・4・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 教育環境は充実している。		

(7)入学者の募集・財務

ア	学生の受入方針は定められているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生募集活動は、適正に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	適正な定員設定及、在籍者数、教職員数になっているか	⑤・4・3・2・1
エ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	⑤・4・3・2・1
オ	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5・④・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 財政基盤の安定のために適正な学生数を確保したい。		

(8)現職教育 (OJT)

ア	教員の指導力向上のための取り組みが行われているか。	5・④・3・2・1
イ	出口指導のための現職教育が行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	オンライン授業への取り組みの教員支援はあるか	⑤・4・3・2・1
エ	教育相談や生活指導について学ぶ機会があるか	5・④・3・2・1
オ	教案の共有など教員の協力体制が構築されているか	5・④・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述 キャリアセンターを通じて出口指導を実施。教員の研修カリキュラムを構築したい。		

(9)法令遵守

ア	入学者の募集に当たり, 入学希望者に対し, 告示基準に定める事項に関する情報の提供を適切な方法により正確かつ確実にを行っているか	⑤・4・3・2・1
イ	個々の生徒の単位時間ごとの出欠を正確に把握するための適切な措置を講じているか	⑤・4・3・2・1
ウ	生徒の在留期間並びに資格外活動の許可の有無及び内容を把握し, 出入国管理法令に違反しないよう適切な助言及び指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
エ	告示基準に基づく地方出入国在留管理局への報告を適切に行っているか	5・④・3・2・1
オ	告示基準に基づき, 記録, 届出のあった内容又は資料を適切に保存しているか	⑤・4・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1
(自由記述欄) 評価者が自由に記述		

欠席率等学生に関する報告は適切に実施できている。

(10)地域貢献・社会貢献

ア	生徒に坂出(香川)で生活する意義を考えさせる機会はあるか	5・4・3・2・1
イ	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5・4・3・2・1
ウ	地域の催しに積極的に参加しているか	5・4・3・2・1
エ	公開講座など学校への地域開放を行っているか	5・4・3・2・1
オ	活動に、将来の日本や母国への貢献につながるものはあるか	5・4・3・2・1
カ	(評価時ごとに設定)	5・4・3・2・1

(自由記述欄) 評価者が自由に記述

地域イベントへは積極的に参加。学校施設を使った地域との連携は計画的に推進したい。

(自己点検委員会 自由記述)

坂出市民との更なる交流を通じて、会話力と人間力の高い学生を輩出することを重要課題として取り組んでいく。

以上